

新しい耳

テッセラの春・第18回音楽祭

5月20日(Fri)~22日(Sun)



第1夜 ~ 楽興の時 ~ 梯剛之 ピアノ・ソロ

2016.5/20 [金] 午後7時開演(午後6時30分開場)

第2夜 ~ 共振 ~

天羽明恵(Sop)/安江佐和子(Perc) with 廻由美子

2016.5/21 [土] 午後4時開演(午後3時30分開場)

第3夜 ~ エレジー ~

寺嶋陸也の耳 Vol.2 ピアノ・ソロ

2016.5/22 [日] 午後4時開演(午後3時30分開場)

変幻自在に進化し続ける「新しい耳」も18回目をむかえる。円熟味よりも新鮮さを、安定よりも冒険を求めるのは、なんとという音楽の快楽だろう。刺激的な3日間がここにある。

廻由美子・ピアニスト(“新しい耳”ナビゲーター)



いつも感動に
出会える
Yamaha GINZA

ヤマハ銀座店

〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14

Tel.03-3572-3171 (代)

〈営業時間〉11:00~19:30(第2火曜定休)

ヤマハ銀座店公式Twitterページ
https://twitter.com/yamaha_ginza

ヤマハミュージック公式Facebookページ
<https://www.facebook.com/yamahamusic.jp>

<http://www.yamahamusic.jp/shop/ginza>



会場: サロン・テッセラ tel: 03-3421-0541

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-22-6-4F

(東急世田谷線「三軒茶屋」駅前) 各夜限定70席

料金(ドリンク付き): 各夜5,000円(全席自由・消費税込)

三夜連し券13,500円 二夜券(お好きな二夜をお選びください)9,000円

お申し込み・お問い合わせ: 03-5216-7131 アレグロミュージック

(平日10~18時/開催期間中はサロン・テッセラへお問い合わせください)

インターネットのお申し込み: <http://atarashii-mimi.jp> テッセラ音楽祭実行委員会

主催: テッセラ音楽祭実行委員会 <http://atarashii-mimi.jp>

新しい耳 テッセラの春・第18回音楽祭

第1夜

梯剛之ピアノ・ソロ ～ 楽興の時～

2016.5/20[金] 午後7時開演(午後6時30分開場)

指先から迸り出る感性、無限に広がる梯剛之のイメージーションがウィーンの新旧を鮮やかに描き出す。それはまさに楽興の瞬間。

program

- モーツァルト: サルティの主題による変奏曲 K.460
- シェーンベルク: 6つの小品 作品19
- シューベルト: 楽興の時 第3番
- ベルク: ピアノ・ソナタ 第1番
- ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第31番 変イ長調 作品110

梯剛之(ピアノ)

1977年生まれ。小児癌により生後1ヶ月で失明、4才半よりピアノを始める。小学校卒業と同時にウィーン国立音大準備科入学。94年盲人視者国際音楽コンクール(チェコ)、エトリンゲン青少年国際ピアノコンクール(独)最年少優勝。95年ストラヴィンスキー青少年国際コンクール(米)2位。97年村松賞。98年ロン=ティボー国際コンクール(仏)2位。99年都民文化栄誉章、出光音楽賞、点字毎日文化賞。2000年ショパン国際コンクール(波)ワルシャワ市長賞。これまでにブラハマ、フランス国立管、N響、読売日響、新日本フィル、仙台フィルなどのオーケストラと、また小澤征爾、フルネ、スターン、小林研一郎、アルブレヒト他多くの指揮者と共演。TV朝日「徹子の部屋」、NHK「芸術劇場」「N響アワー」等出演。14年7月サラエボにて「世界平和コンサートへの道」で、柳澤寿男指揮バルカン室内管弦楽団と共演。15年7月、オーチャードホールで「徹子の部屋」クラシック2015"に出演。佐々木弥栄子、高岡慶子、阿部美果子、E.D=ヴァイスハル各氏に師事。CD「リサイタル2013」は「レコード芸術」誌特選盤、「リサイタル2014」は同誌準特選盤。



photo:Masashige Ogata

天羽明恵(Sop)/安江佐和子(Perc) with 廻由美子 ～ 共振～

2016.5/21[土] 午後4時開演(午後3時30分開場)

第2夜



天羽明恵(ソプラノ)

東京芸術大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員、及び五島記念文化財団の奨学金を得て、ドイツに留学。95年ラインスベルク音楽祭でティレマン指揮《ナクソ島のアリアドネ》にツェルピネッタで出演。さらにソニア・ノルウェー女王記念第3回国際音楽コンクールに優勝し一躍注目を集める。ドイツを拠点として、欧州各地の歌劇場や音楽祭に多く出演。国内でも新国立劇場、サントリーホール・ホールオペラなどへ定期的に登場し、主要なオーケストラの定期公演にもソリストとして出演している。1999年度アリオン賞、2003年第14回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。サントリーホールオペラアカデミーコーチング・ファカルティ。公式ホームページ <http://www.akieamou.com/>

天から降ってくるような天羽明恵の声、それに共振する自然のような安江佐和子の打楽器。音楽の原始が出会い、未来を創り出す。



安江佐和子(パーカッション)

ソロパーカッション、マリンバ、ティンパニ奏者。桐朋学園大学卒業、研究科修了。'95よりサイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとして活動。小澤征爾指揮、ヨーロッパ、アメリカツアーなどティンパニ奏者として出演。'02文化庁芸術家海外研修員としてベルリンへ留学。'04～'07東京フィルハーモニー交響楽団打楽器奏者。'11より安江佐和子プロデュース「Prana」をスタート。ラ・フォル・ジュルネにてマルタ・アルゲリッチ、ギドン・クレーメル氏と室内楽共演。現在、桐朋学園大学、東京芸術大学非常勤講師。リズムを超えた「音楽」を求め、歌う、色彩のパーカッションとして、独自の音色感をもった世界を展開する。Website <http://www.sawakoyasue.com/>

program

- 武満徹/安江佐和子編曲: 小さな空
- 岡野貞一/杉山洋一編曲: 朧月夜
- 安江佐和子: 声とパーカッションのために
- ヴィラ=ロボス: ブラジル風パッサム No.5

リゲティ: マカーブルの秘密

(歌劇《ル・グラン・マカーブル》より) 他



廻由美子(ピアノ)

第3夜

寺嶋陸也の耳 Vol.2 ピアノ・ソロ ～ エレジー～

2016.5/22[日] 午後4時開演(午後3時30分開場)

真の自由を探求し続ける寺嶋陸也の音楽。本当の強さにだけ宿る典雅で硬質な輝きは、時空を超えて「今」をダイレクトに伝えてくる。

寺嶋陸也(作曲家・ピアニスト)

東京芸術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。97年東京都現代美術館でのボンビドー・コレクション展開催記念サティ連続コンサート「伝統の変装」、03年バリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音楽の交流」などは高く評価され、06年にはタングルウッド音楽祭に招かれボストン交響楽団のメンバーと自作を含む室内楽を演奏した。作曲、ピアノ演奏のほか、オペラの指揮など、活動は多方面にわたる。オペラ『ヒト・マル』『ガリレイの生涯』『未摘花』、カンタータ『伊邪那岐・伊邪那美』、合唱ファンタジア『オホホ島奇譚』、ヴォードヴィル『タバコの害について』、『尺八・二十絃箏と管弦楽のための協奏曲』など作品多数。「大陸・半島・島/寺嶋陸也作品集」(ALCD9026)、「二月から十一月への愛のうた」(VIC561092)、「寺嶋陸也plays林光」(NARD5034)など、多くのCDがある。ホームページ <http://www.gregorio.jp/terashima/>

program

- ショパン: 幻想ポロネーズ 作品61
- 寺嶋陸也: エレジー(2004)
- 林光: 希望(2010)
- ラヴェル: ケープランの墓



photo:渡辺力